

アンチエイジンググッズの ご案内



老化を防ぎ、"QOL"を高める究極の予防医学 それがアンチエイジング医学

アンチエイジング(抗加齢)医学とは予防医学の一種で、老化の予防を最大の目標としています。老化とは加齢にともなって、機能が低下していくことで、それには様々な原因が考えられます。

アンチエイジング医学では、老化の原因と考えられるホルモンの分泌低下、酸化ストレス、免疫力などの低下を予防するために、運動やストレスケア、従来の医療では積極的に行われなかったサプリメント指導などを含めた対処を実施しています。

長寿社会を迎えたいま、老化を防ぎ、健やかに年齢を重ね、"QOL"(Quality of Life=「生活の質」)を高めるために、アンチエイジング医学が重要な役割を担いはじめています。

老化原因の早期発見・予防を目指す アンチエイジングドック

同志社大学 保健センターでは、アンチエイジングドックを実施しています。

これはガンをはじめとする生活習慣病の早期発見・予防を目的とする人間ドックとは異なり、老化原因の早期発見・予防を目指すものです。

血液検査や尿検査などの一般検診に加え、

アンチエイジング検査（体内年齢の判定、老化を助長する酸化ストレスの判定、

メタボリック危険度の判定）、体内に蓄積されている有害重金属の測定を行い、

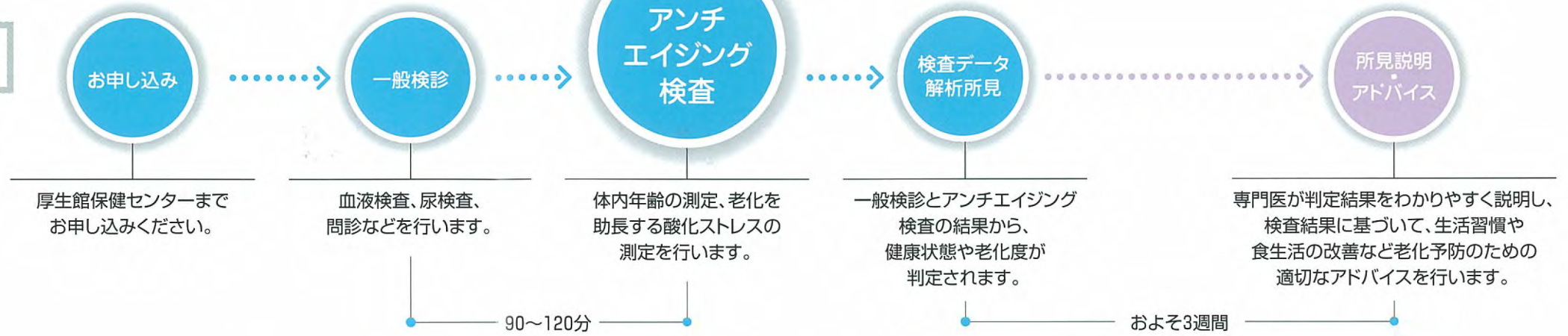
その結果に基づいて医師が老化防止のためのアドバイスを行います。



同志社大学
アンチエイジング
リサーチセンター教授
(日本抗加齢学会専門医)

米井 嘉一

受診の流れ



血管年齢の測定

腕と足首にカフを巻き、血管の硬さ柔らかさを測定します。測定時間はおよそ5分です。

筋年齢の測定

体の筋肉量、体脂肪量、骨量、水分量、基礎代謝量を測定します。測定時間はわずか2分で、あなたの現在の状態がわかります。

脳年齢の測定

パソコンの画面に向かって行う、対面式の検査や問診などから判定します。質問に答えていくだけです。15分ほどで終了します。

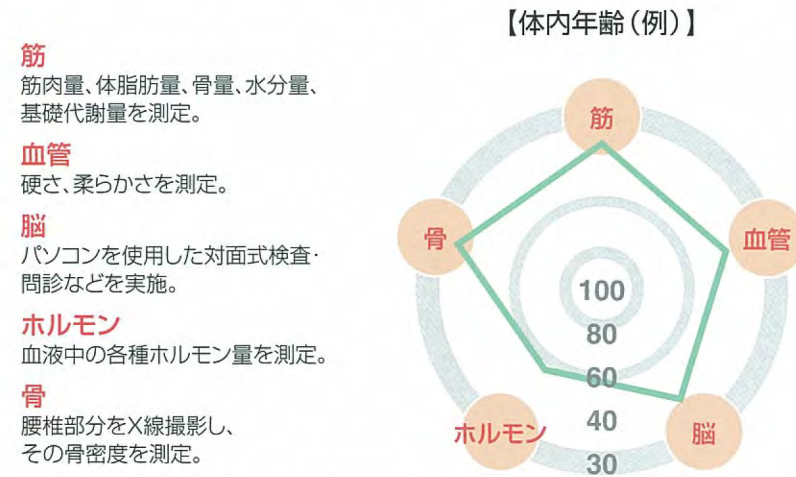
骨年齢の測定

腰椎部分をX線撮影し、コンピュータで骨密度を割り出します。5分間程度横になっていただけで完了します。

体内年齢と酸化ストレス及びメタボリックシンドローム検査。3つの検査でアンチエイジング

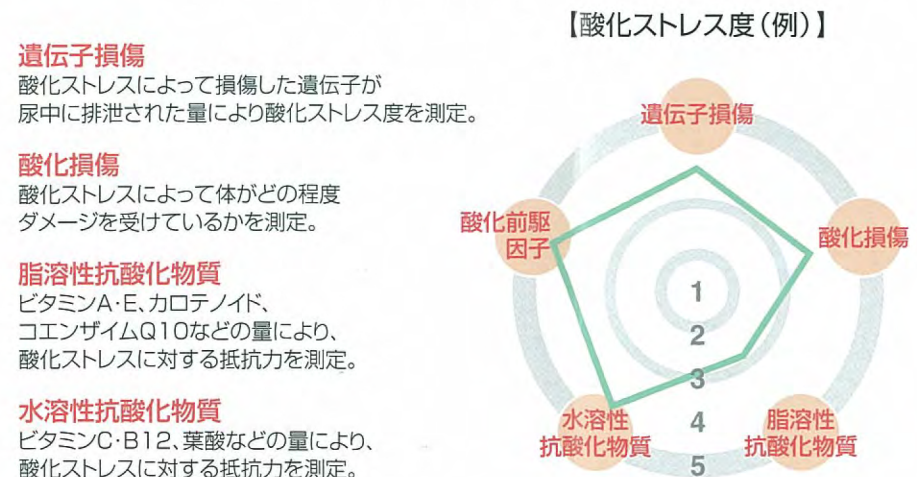
まずは体の"実年齢"をチェック! つぎに体の"サビ具合"をジャッジ! 最後にあなたの"メタボリック危険度"を判定

筋、血管、脳、ホルモン、骨の5項目で検査を行い、その測定結果をもとに評価年齢=体の"実年齢"を割り出します。



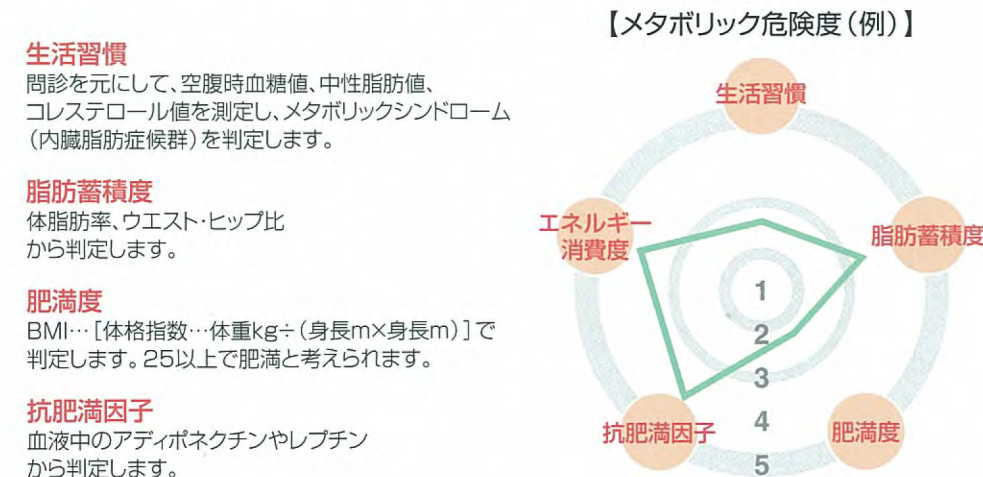
測定結果にもとづき、項目ごとに体内年齢が算出されます。緑色の5角形が外側に広がっているほど理想的な健康状態に近いことを表わします。このグラフではホルモン年齢が高いようです。

体を錆び(酸化)させ、老化やさまざまな症状を引き起こすといわれる酸化ストレスの度合いや抵抗力の有無を5項目の検査によって測定します。



緑色の5角形が外側に広がっているほど、酸化ストレス度(さびつき)が低く、体の状態は良好です。このグラフの場合、脂溶性抗酸化物質が少ないようです。

生活習慣病の中でも『メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)』の危険性を調べる検査を行い、判定します。



五角形が外側に広がっているほど、メタボリック危険度が低く、体の状態は良好で、このグラフでは生活習慣や肥満度に注意しなければならない状態です。

検査項目・内容		検査料金<税込>			
		A(詳細)コース ¥110,000	B(標準)コース ¥77,000	C(基本)コース ¥33,000	
基本	問診・身長・体重・血圧	○	○	○	
体内年齢	筋年齢	体組成・筋量測定	○	○	○
		握力	○	○	○
		ウエストヒップ比	○	○	○
	血管年齢	血圧脈波測定	○	○	○
		HDLコレステロール	○	○	○
		LDLコレステロール	○	○	○
		中性脂肪(TG)	○	○	○
		ホモシステイン	○	○	○
	神経年齢	高感度CRP	○	○	○
		ウィスコンシンカードソーティングテスト	○	○	○
	ホルモン年齢	ソマトメジン-C (SM-C, IGF-1)	○	○	○
		DHEA-S	○*	○*	○*
		コルチゾール	○*	○*	○*
		TSH	○	○	○
		Free T3	○*	○*	○*
		Free T4	○*	○*	○*
		テストステロン	○	○	○
		エストラジオール	○	○	○
	プロゲステロン	○	○	○	
骨年齢	骨密度測定	○	○	○	
老化危険因子	免疫ストレス	白血球分類(白血球像)	○	○	○
		DHEA-S	○*	○*	○*
	酸化ストレス	尿中8-OHdG	○	○	○
		尿中イソプラスタン	○	○	○
		CoQ10酸化率(ユビキノール)	○	○	○
		鉄(Fe)	○	○	○
		銅(Cu)	○	○	○
		STAS(総抗酸化能)	○	○	○
		PAO	○	○	○
		ビタミンC	○	○	○
		葉酸	○	○	○
		ビタミンB12	○	○	○
		尿酸(UA)	○	○	○
		ルティン+ゼアキサンチン	○	○	○
		β-クリプトキサンチン	○	○	○
		リコピン	○	○	○
		α-カロテン	○	○	○
		β-カロテン	○	○	○
		ビタミンA	○	○	○
	ビタミンE/コレステロール	○	○	○	
	総コレステロール(TC)	○	○	○	
	心身ストレス	DHEA-S	○*	○*	○*
		コルチゾール	○*	○*	○*
	糖化ストレス	空腹時血糖	○	○	○
		ヘモグロビンA1c	○	○	○
		インスリン精密測定	○	○	○
		Free T3	○*	○*	○*
		Free T4	○*	○*	○*
		ペントシジン	○	○	○
	アディポネクチン	○	○	○	

※重複検査項目

●お問い合わせ先●

同志社大学 保健センター
〈今出川校地〉

〒602-0023 京都市上京区烏丸通上立売下ル御所八幡町103 (寒梅館2F)

TEL:075-251-3100 FAX:075-251-3063

E-mail:ji-hoken@mail.doshisha.ac.jp



●京都市営地下鉄「今出川」駅 下車2番出口徒歩2分